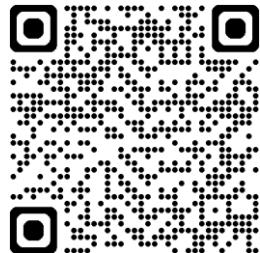
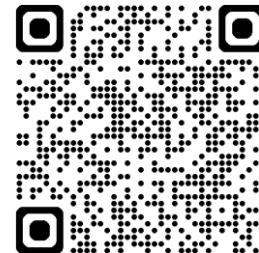


若狭湾エリアの観光情報

若狭湾エリアの観光案内サイト

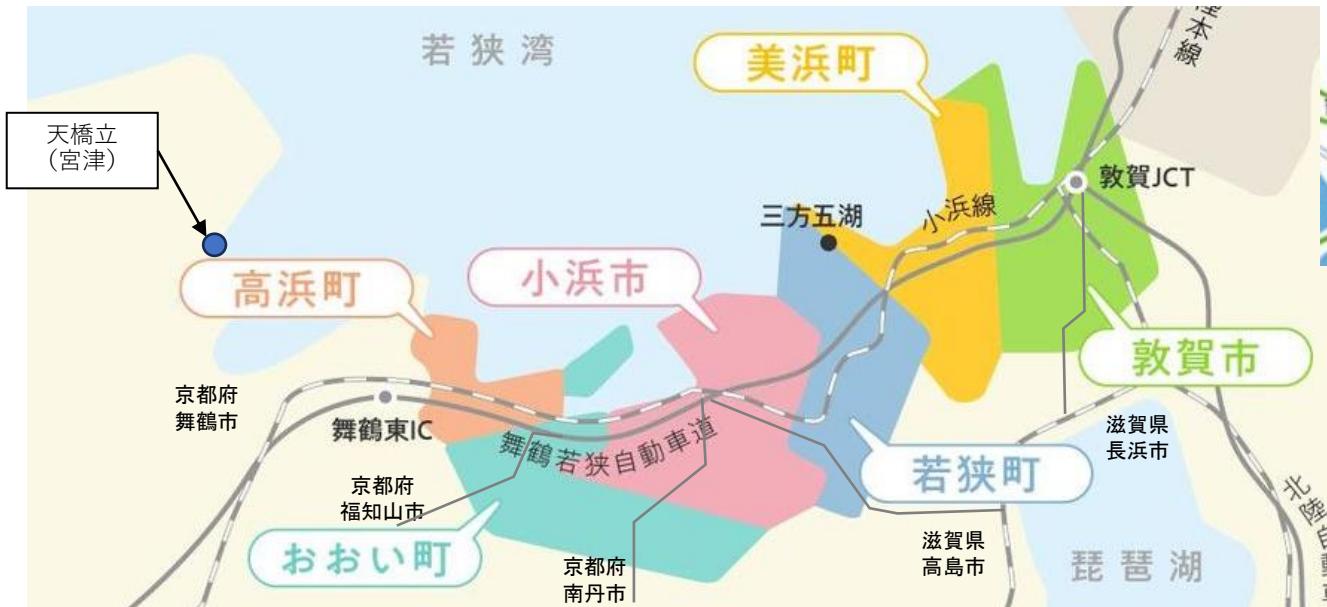


福井県の観光案内サイト

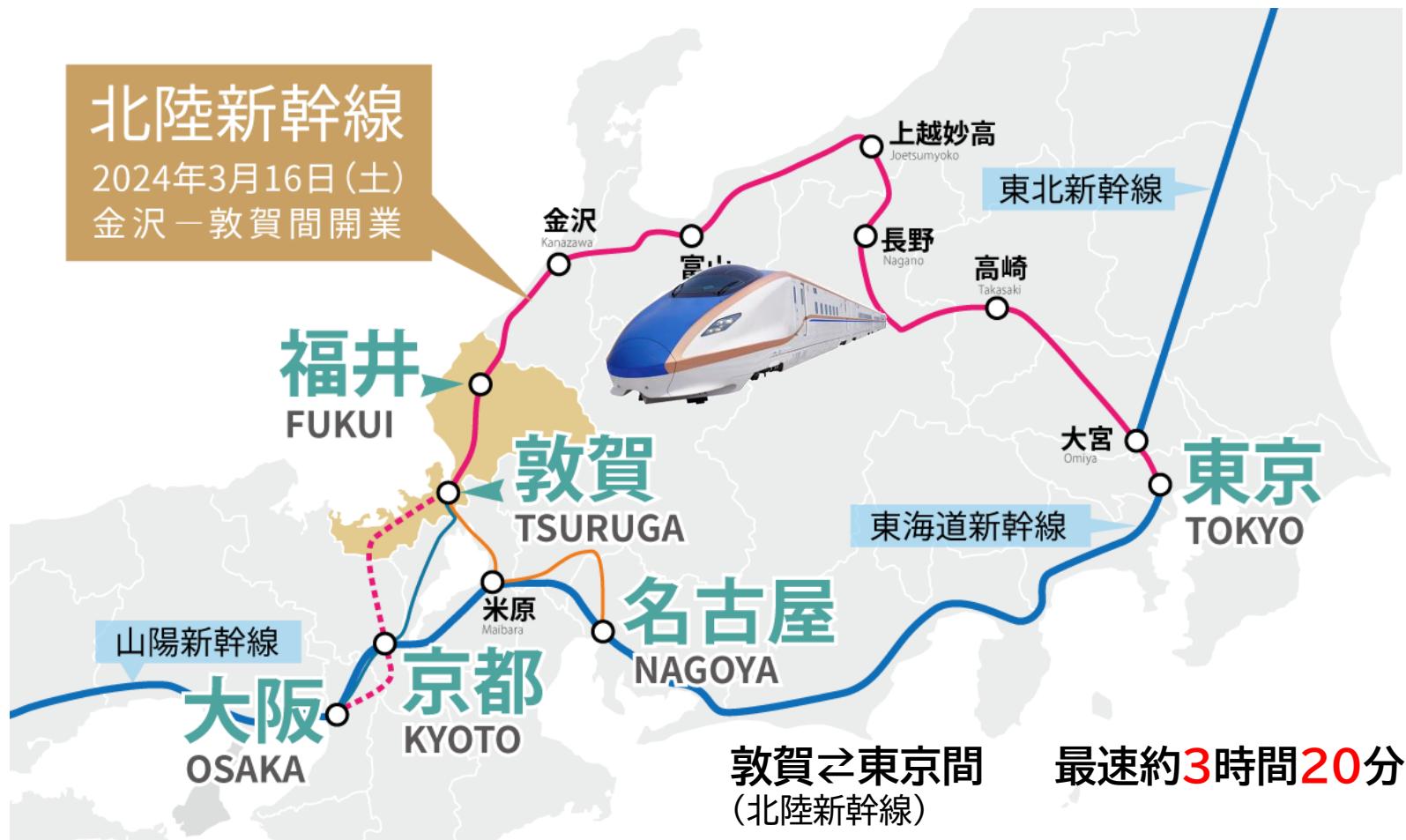


若狭湾エリアの概要

- 若狭湾エリアは福井県の南西部に位置する、東西約80kmの細長い地形です。
- 東から順に敦賀市(旧越前国)、美浜町・若狭町・小浜市・おおい町・高浜町(旧若狭国)
- 若狭国は平安時代に朝廷に海の幸等の食料を献上した「御食国(みけつくに)」のひとつ。
(御食国は、他に志摩国(三重県)、淡路国(兵庫県)と言われている。)
- 敦賀や美浜、小浜は、北前船の荷物を京都に運ぶ中継地の役割も担ってきました。
(敦賀駅～京都駅約100km、小浜駅～京都駅80km)
- 神社仏閣など京都等への海の玄関口として長く栄えた歴史を反映した文化遺産が
数多く残っています。



若狭湾エリアへのアクセス(鉄道)



敦賀→大阪間 **最速約1時間20分**
(特急サンダーバード)

敦賀→京都間 **最速約55分**
(特急サンダーバード)

敦賀→東京間 **最速約3時間20分**
(北陸新幹線)

敦賀→東京間 **最速約2時間50分**
(特急しらさぎ→米原乗換・東海道新幹線)

敦賀→名古屋間 **最速約1時間40分**
(特急しらさぎ)

若狭湾エリアへのアクセス(自動車)

小浜IC ⇄ 大阪(中国自動車道 中国池田IC) 約1時間50分	敦賀IC ⇄ 京都(京都東IC) 約1時間20分
小浜IC ⇄ 京都(京都縦貫道 沢掛IC) 約1時間30分	敦賀IC ⇄ 名古屋(一宮IC) 約1時間30分
小浜駅 ⇄ 京都駅 約1時間50分	敦賀IC ⇄ 東京(東京IC) 約5時間10分



若狭湾エリアの入込状況



観光客数はコロナ禍前より増加している。105%増
(2019年 10,363千人→2024年 10,920千人)

(出典:福井県観光客入込推計)

西端(京都府県境)

(北陸新幹線駅)東端

		高浜町	おおい町	小浜市	若狭町	美浜町	敦賀市	合計
所要時間(自動車) 敦賀駅→各市町中心部		約60分 (舞鶴若狭道)	約50分 (舞鶴若狭道)	約40分 (舞鶴若狭道)	約30分 (国道27号)	約20分 (国道27号)	—	—
人口	2023年 R5	9,818人	7,533人	28,030人	13,188人	8,708人	62,252人	129,529人
	2019年 R元	10,282人	8,067人	28,538人	14,211人	9,230人	64,474人	134,802人
観光客数	2024年 R6	666千人	1,351千人	1,290千人	2,089千人	1,267千人	4,257千人	10,920千人
	2019年 R元	779千人	1,091千人	1,893千人	2,001千人	905千人	3,694千人	10,363千人
主な宿泊 施設数 (2024年)	ホテル 旅館	2施設 1,269人	0	4施設 491人	1施設 123人	2施設 243人	4施設 790人	—
	民宿等	93施設 3,057人	44施設 1,103人	44施設 1,717人	62施設 1,630人	34施設 954人	48施設 2,264人	—
	公共の宿	0	3施設 166人	0	0	0	0	—

若狭湾エリア 市町別観光客入込数(10年間の推移)

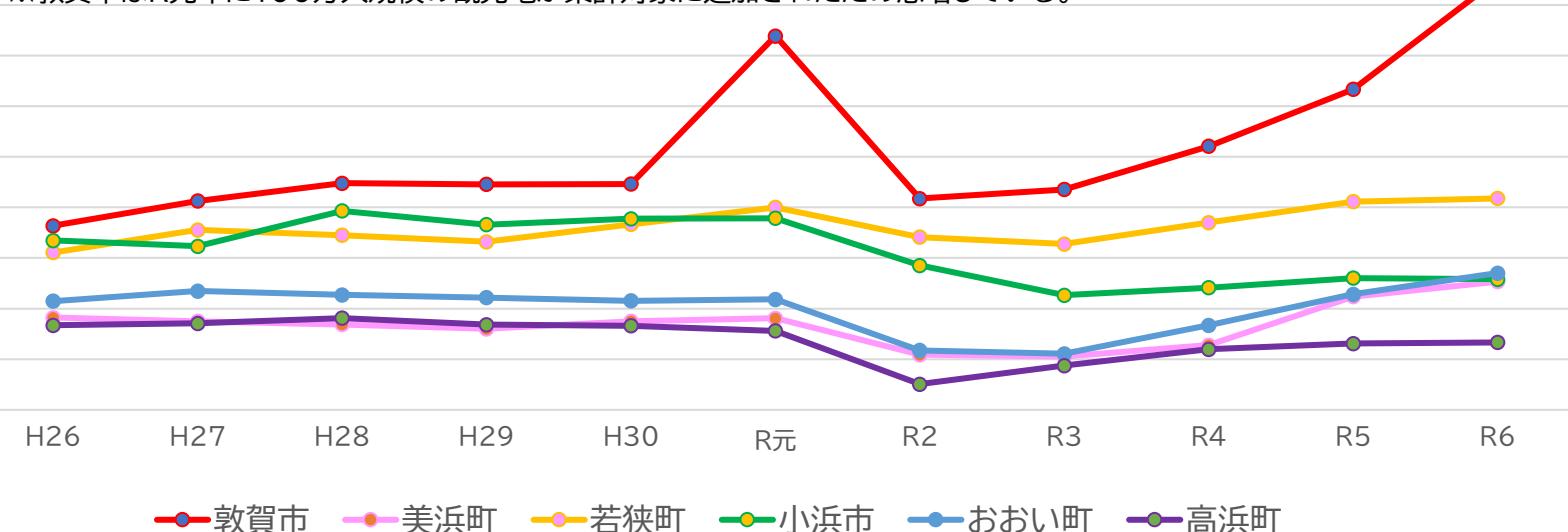
2024年に北陸新幹線敦賀駅が開業し、敦賀市や美浜町、若狭町、おおい町においてコロナ禍前(2019年)より増加がみられる。

(単位:千人)

	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R元	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2024/ 2019
敦賀市	2,064	2,239	2,228	2,231	3,694	2,087	2,178	2,605	3,168	4,257	115%
美浜町	874	843	800	874	905	543	524	638	1,118	1,267	140%
若狭町	1,777	1,725	1,661	1,833	2,001	1,707	1,639	1,850	2,058	2,089	104%
小浜市	1,616	1,965	1,829	1,888	1,893	1,426	1,132	1,206	1,301	1,290	68%
おおい町	1,174	1,135	1,109	1,077	1,091	586	553	835	1,141	1,351	124%
高浜町	853	906	841	830	779	253	436	598	654	666	85%
合 計	8,358	8,813	8,468	8,733	10,363	6,602	6,462	7,732	9,440	10,920	105%

(出典:福井県観光客入込推計)

※敦賀市はR元年に100万人規模の観光地が集計対象に追加されたため急増している。



若狭湾エリア 市町別観光客入込数(季節別)

各市町とも、夏または秋の入込が最も多く、冬の入込が最小になる。

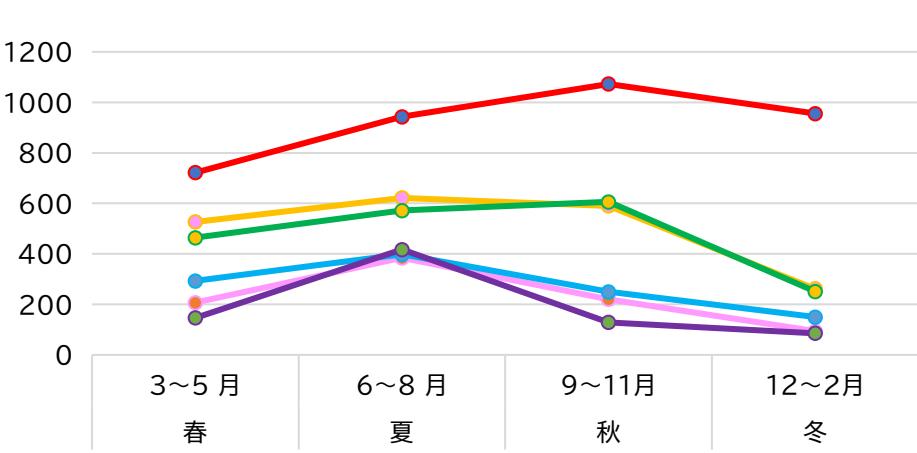
繁閑差は敦賀市を除く各市町でマイナス5割～8割程度である。

(単位:千人)

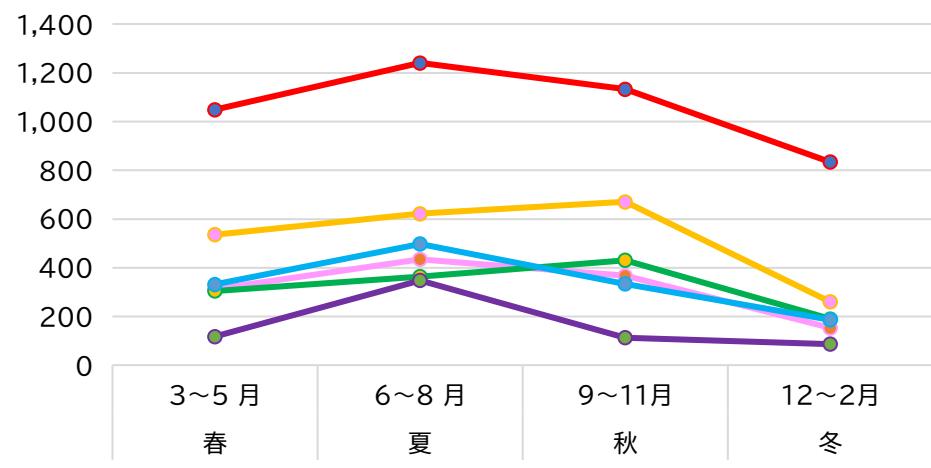
	2019年 R元						2024年 R6					
	春	夏	秋	冬	合計	繁閑差	春	夏	秋	冬	合計	繁閑差
	3~5月	6~8月	9~11月	12~2月			3~5月	6~8月	9~11月	12~2月		
敦賀市	722	943	1,073	956	722	-33%	1,049	1,241	1,133	834	4,257	-26%
美浜町	207	384	220	94	207	-76%	312	435	367	153	1,267	-65%
若狭町	527	622	590	262	527	-58%	536	622	671	260	2,089	-61%
小浜市	464	572	606	251	464	-59%	305	364	431	190	1,290	-56%
おおい町	293	398	250	150	293	-62%	332	498	334	187	1,351	-62%
高浜町	147	417	129	86	147	-79%	118	348	113	87	666	-75%
合 計	2,360	3,336	2,868	1,799	2,360		2,652	3,508	3,049	1,711	10,920	

(出典:福井県観光客入込推計)

市町別の季節別入込数 2019年



市町別の季節別入込数 2024年



福井県の外国人延べ宿泊者数(10年間の推移)

福井県における外国人延べ宿泊者数はかなり少ないが、若狭湾エリアの立地は、外国人観光客が大幅に増加する京都からも近い。
(単位:千人)

	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R元	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6
福井県	56	54	61	76	98	23	9	12	65	92
京都府	4,579	4,603	5,556	6,268	12,025	1,708	106	1,413	12,133	16,938
滋賀県	477	481	389	413	424	60	19	41	286	337

(出典:観光庁宿泊旅行統計調査)



自動車で移動する場合の所要時間の目安

区間	主なルート	所要時間
京都駅 ⇄ 小浜駅	R27+R303+R367 (鯖街道)	約90分
京都駅 ⇄ 小浜駅	R162(周山街道)	約140分
京都駅 ⇄ 小浜駅	京都縦貫道・舞鶴若狭道	約90分
京都府宮津駅 ⇄ 小浜駅	京都縦貫道・舞鶴若狭道	約70分
滋賀県近江今津駅 ⇄ 小浜駅	R27+R303	約40分
京都駅 ⇄ 敦賀駅	北陸道または湖西道路	約110分
滋賀県米原駅 ⇄ 敦賀駅	北陸道	約50分
滋賀県長浜駅 ⇄ 敦賀駅	北陸道	約40分
敦賀駅 ⇄ 小浜駅	舞鶴若狭道	約40分

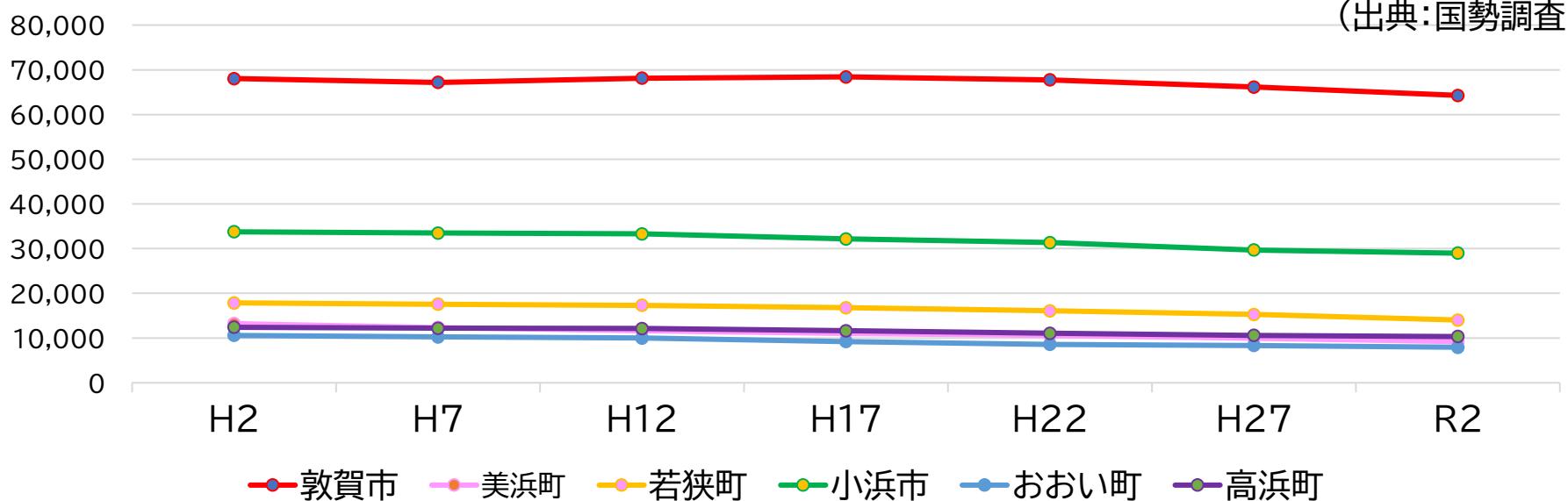
若狭湾エリア 市町別人口推移

いずれの市町も緩やかに減少している。

(単位:人)

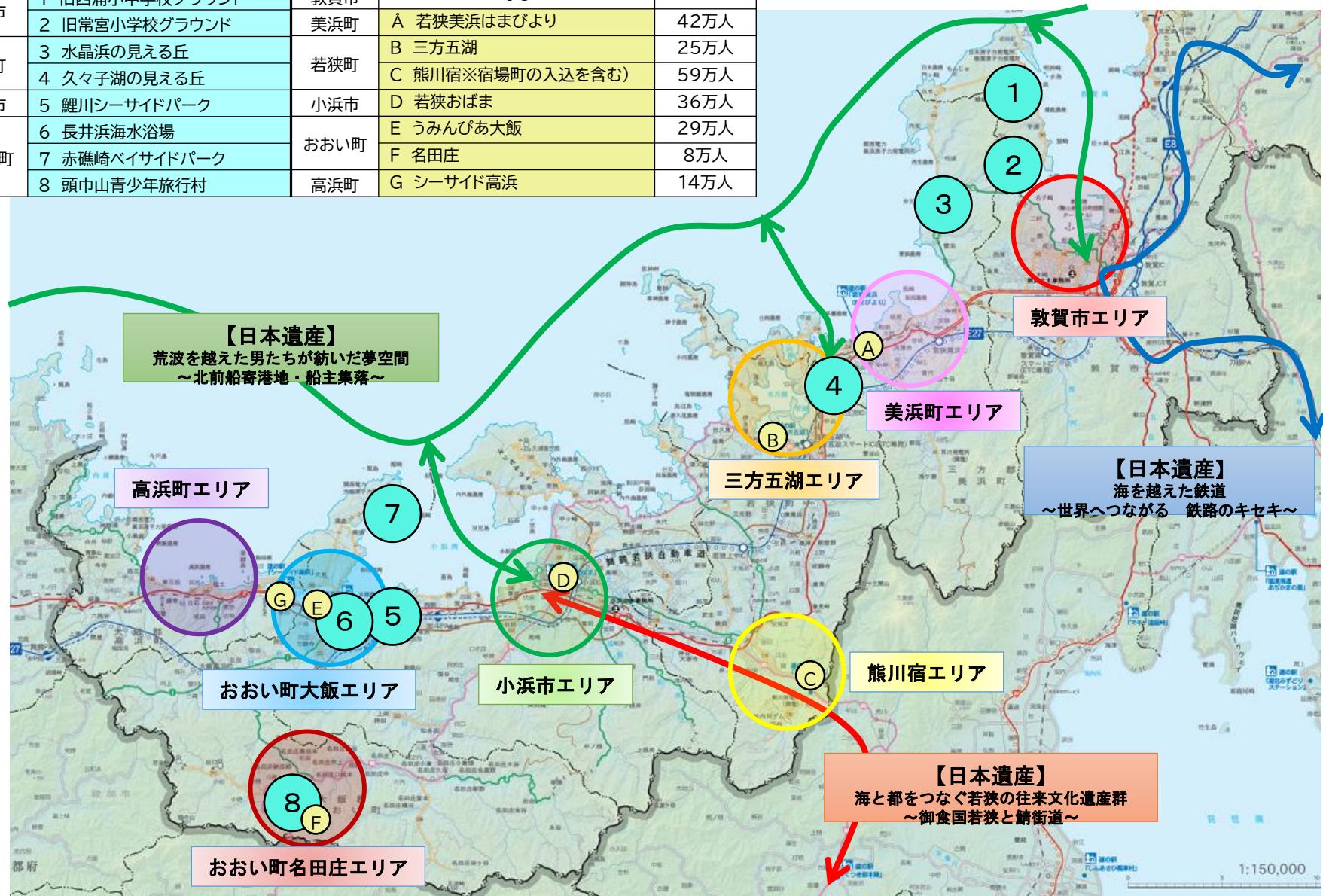
	1990年 H2	1995年 H7	2000年 H12	2005年 H17	2010年 H22	2015年 H27	2020年 R2	R2/H2
敦賀市	68,041	67,204	68,145	68,402	67,760	66,165	64,264	94%
美浜町	13,222	12,362	11,630	11,023	10,563	9,914	9,179	69%
若狭町	17,835	17,567	17,313	16,780	16,099	15,257	14,003	79%
小浜市	33,774	33,496	33,295	32,182	31,340	29,670	28,991	86%
おおい町	10,598	10,251	9,983	9,217	8,580	8,325	7,910	75%
高浜町	12,425	12,201	12,119	11,630	11,062	10,596	10,326	83%
合 計	155,895	153,081	152,485	149,234	145,404	139,927	134,673	86%

(出典:国勢調査)



主な観光エリア・日本遺産

市 町	第2回募集の対象地	市 町	道の駅の名称	R6入込
敦賀市	1 旧西浦小中学校グラウンド	敦賀市	なし	—
	2 旧常宮小学校グラウンド	美浜町	A 若狭美浜はまびより	42万人
美浜町	3 水晶浜の見える丘	若狭町	B 三方五湖	25万人
	4 久々子湖の見える丘		C 熊川宿※宿場町の入込を含む)	59万人
小浜市	5 鯉川シーサイドパーク	小浜市	D 若狭おばま	36万人
	6 長井浜海水浴場	おおい町	E うみんぴあ大飯	29万人
おおい町	7 赤礁崎ペイサイドパーク		F 名田庄	8万人
	8 頭巾山青少年旅行村	高浜町	G シーサイド高浜	14万人



若狭湾エリアの日本遺産

海と都をつなぐ若狭の往来文化遺産群
～御食国(みけつくに)若狭と鯖街道～

海を越えた鉄道
～世界へつながる 鉄路のキセキ～

荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間
～北前船寄港地・船主集落～

海と都をつなぐ若狭の往来文化遺産群 ～御食国(みけつくに)若狭と鯖街道～

日本遺産「御食国若狭と鯖街道」のストーリー

若狭は、古代から「御食国」として塩や海産物など豊富な食材を都に運び、都の食文化を支えてきた地です。

また、大陸からつながる海の道と都へとつながる陸の道が結節する最大の拠点となつた地であり、古代から続く往来の歴史の中で、街道沿いには港、城下町、宿場町が栄え、また往来によりもたらされた祭礼、芸能、仏教文化が街道沿いから農漁村にまで広く伝播し、独自の発展を遂げました。

「鯖街道」と呼ばれるこの街道群沿いには、往時の賑わいを伝える町並みとともに、豊かな自然や、受け継がれてきた食や祭礼など様々な文化が今も息づいています。

「鯖街道」をたどれば、1500年続く往来の歴史と、伝統を守り伝える人々の営みを肌で感じることができます。

全国で唯一の日本遺産プレミアム選定！

2024年7月、日本遺産認定地域の最上位のランクとなる「日本遺産プレミアム」に、全国で初めて選定されました。

◆御食国(みけつくに)とは

飛鳥・奈良時代に皇室や朝廷に食材を献上していた地域を指す言葉です。淡路、若狭、志摩の3つの地域が該当すると考えられています。万葉集においては、伊勢・志摩・淡路などが御食国として詠われるとともに、若狭については、平安時代に編集された『延喜式』に、天皇の御食料である「御贊(みにえ)」を納める国として、志摩などと共に記されています。

構成文化財の一例

脇袋古墳群



脇袋古墳群の背後に膳部(ぜんぶ)山があり、膳臣との関係がうかがえる。前方後円墳及び大型円墳の形態をとり、奈良時代、若狭を支配した膳臣(かしわでのおみ)一族が被葬者であると推定されている。膳臣は天皇の食を司る役を担った一族であり、御食国(ごしょくこく)の原点を示す史跡。

神宮寺



和同7年(714)僧滑元の開創。東大寺別当良弁の出身地とも伝えられるほか、「東大寺要録」の記録どおり、若狭の水を奈良東大寺二月堂に送る「送水神事」を続けており、また境内から平城宮第二次朝堂院様式の瓦が出土し、奈良と若狭の深い関係を顕著に示す寺院。天皇や貴族に庇護された、創建を古代に遡る古刹・仏像が集積しており、奈良・京都とのつながりを色濃く示す歴史的景観を形成している。

熊川宿



若狭街道ルートの物流の中継拠点。近江国との国境に接し、軍事上、物流上の要衝として重要な役割を担った宿場町。秀吉から若狭国を与えられた浅野長政が関所を置き、天正17年(1589)に諸役免除の判物を出して商家を集め、問屋街と宿場を整備し、近世的な宿場町として発展する礎を作った。小浜市場と連携した問屋が、馬借や背負を手配し、小浜港に揚がった諸藩の蔵米や、昆布、鰯などを京都に運ぶ中継地として活況を見せた。現在の熊川の旧街道筋には、塗り壁の商家や土蔵など多数の伝統的建造物が保存され、当時の宿場の賑わいを伝えている。

旧古河屋別邸



江戸時代に小浜市を拠点に活躍した北前船の商人「古河屋」の五代目が小浜藩のお殿様などをもてなすために建てた建物。2021年に同地を管理している若狭塗り箸製造卸会社「(株)マツ勘」によりリニューアル。カフェやコワーキングスペース、イベント等催しを通じた憩いの場として生まれ変わりました。

海と都をつなぐ若狭の往来文化遺産群 ～御食国(みけつくに)若狭と鯖街道～

1章

若狭の往来文化遺産群



明通寺は、小浜市門前にある真言宗御室派の寺院。大同元年(806)に北陸地方を巡回中の坂上田麻呂が創建したと伝えられている。鎌倉時代の本堂と三重塔が国宝に指定され、国の重要文化財に指定された仏像が複数ある



右上／奈良と若狭の絆を深める歴史ある伝統行事、お水送り。右下／若狭路に伝わる中世の芸能として継承される王の舞。左上／魚の内臓をだして塩漬けし、さらに醤漬けする若狭の伝統料理へこし。左中／小浜よっぱらいさばの新鮮なお刺身。左下／若狭と京都との交易の拠点として発展した宿場町・若狭街道宿熊川宿



主な構成文化財

●公式HP
御食国若狭と鯖街道
小浜市・若狭町
日本遺産活用推進協議会



- ①鯖街道(針畳越え)/小浜市上根来他
- ②鯖街道MUSEUM/小浜市小浜広峰17-1
- ③小浜西絨/小浜市小浜鹿島他
- ④若狭姫神社/小浜市遠敷65-41
- ⑤瓜割の滝/若狭町天徳寺37-1-3

●公式HP
小浜まち歩き AUDIO GUIDE
『ON THE TRIP』



ングの人気スポットとなっています。
元々の鯖街道の起点は小浜藩主・京極高
次によって整備された小浜市場。この市場
の記録「市場仲買文書」に残る「生鯖塩して
扱い京に行き仕る」という「文が通称の由来
とい京に行き仕る」という説もあります。若狭湾で獲れた鯖を
どの海産物は、都へ運ばれた後も美味しく
食べられるよう「へし」と「なれすし」など
加工技術が向上しました。京都ではハレの
日に食べる習慣がある押し寿司の一種「鰯寿
司」や、「鰯を丸ごと一本豪快に焼いて出す」浜
焼き鯖など、1500年の歴史が育んだ
味をこ当地グルメとして楽しめるのも鯖街
道の魅力なのです。

「御食国(みけつくに)」としての都の食を
担ってきた歴史を持つエリア。塩や海産物など
の豊かな資源を京都へ届けた街道群は、
塩漬けにした鯖を運んだことから「鯖街
道」の名前で呼ばれています。その起点であ
り、室町時代初期にはゾウやクジラなど
を乗せた南蛮船も上陸するなど、国際的な
港であったことも分かっています。都からの
工芸や文化も伝わり、都の大寺社で奉納さ
れていた王の舞や京都祇園の流れをひく
「小浜放生祭」などの民俗行事が今でも催
され桃山時代に渡来した海外からの工芸
技術が発展して工芸品・若狭塗のルーツと
なるなど、地域に根付いて独自の進化を遂
げてきました。

「鯖街道」の道々には街道歌や道標、「熊
川宿」などの宿場町、「若狭姫神社」「若狭姫
神社」やお水送りで知られる「若狭神宮寺」
などの歴史ある数々の寺社もあり、雅な都
文化とのつながりの深さを感じられます。
鯖街道の中でも最も古といわれる「針畳越
え」のルートは若狭と京都を最短距離で
結ぶもの。近年ではウォーキングやサイクリ
ングの人気スポットとなっています。

【引用：ふくトリップ～ふくい日本遺産を巡る旅～】

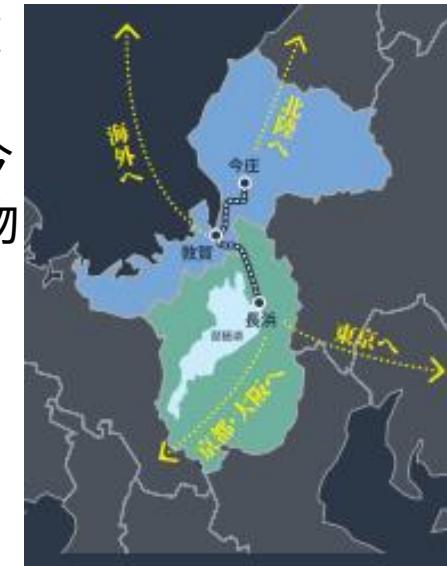
都の文化が形を変えて
今なお残る情緒深いエリア。

海を越えた鉄道 ～世界へつながる 鉄路のキセキ～

日本が近代国家へと歩みはじめた明治時代。鉄道は文明開化の象徴として、人々を新たな時代へと運びました。

最初期の重要路線のひとつとして建設された長浜(滋賀県)・敦賀・今庄(福井県)を結ぶ路線は、日本鉄道史の夜明けを駆け抜けた歴史を物語る鉄道遺産の宝庫です。(敦賀は日本海側で最初に鉄道が敷かれた街)

長浜は日本海と太平洋を結ぶ水陸交通のターミナルとして、敦賀は陸運と海運を結節する鉄道と港のまちとして、今庄は峠越えに挑む鉄道基地として、明治時代に日本が近代国家へと発展するなかで、鉄道で結ばれた3市町は重要路線として文化や経済の成熟を支えました。



旧北陸線トンネル群

『日本三大廃線トンネル群』の一つ。

現存する『日本最古』の鉄道トンネルがある。



今から約100年前に運行されていた「欧亜国際連絡列車」は、明治45年6月から新橋-金ヶ崎(後に敦賀港駅と改称)間で運行されていました。

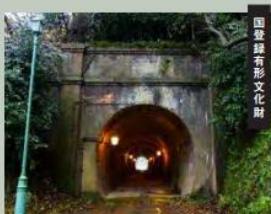
敦賀港からウラジオストク直行の船に連絡し、ウラジオストクからはシベリア鉄道を経由してヨーロッパへと通じていました。

当時、東京とヨーロッパを結ぶ最短ルートであり、多くの人々や文化を運びました。このことから敦賀はシベリア鉄道経由でヨーロッパと結ぶ玄関口だったといえます。

構成文化財の一例



⑥曲谷トンネル (260m)



⑭樺曲トンネル (87m)



⑮柳ヶ瀬トンネル (1352m)



①湯尾トンネル (368m)



④伊良谷トンネル (467m)



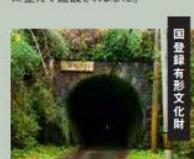
⑤芦谷トンネル (223m)



⑦第二観音寺トンネル (310m)



⑥第一観音寺トンネル (82m)



⑩曾路地谷トンネル (401m)



⑪鮎ヶ谷トンネル (64m)



⑫葉原トンネル (979m)



②大桐駅跡



③山中信号所跡



⑯中ノ郷駅跡



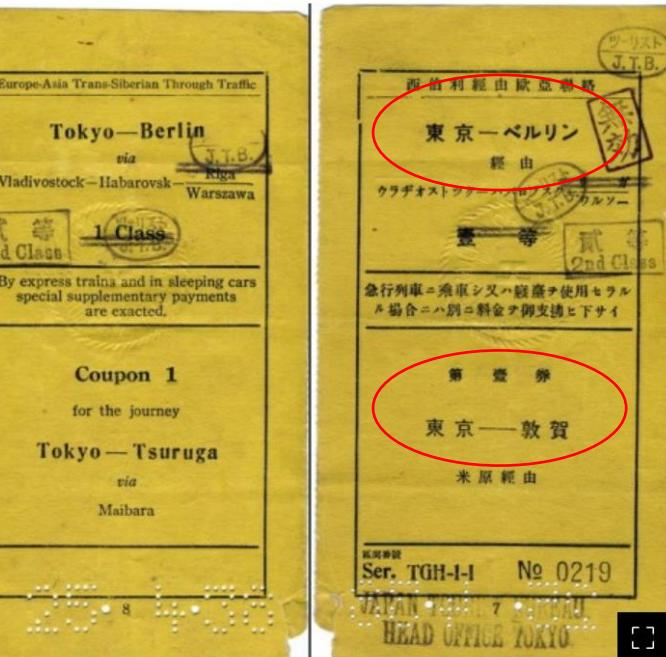
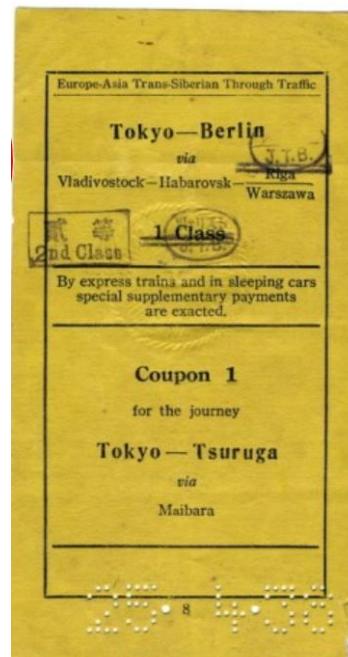
⑯旧長浜駅29号分岐器ポイント跡

プラットホームの跡が残っており、蒸気機関車の動輪などが展示されています。

長浜市役所余呉支所前に、柳ヶ瀬越えの拠点駅だったプラットホームの一部が残っています。

敦賀と今庄を結ぶ旧北陸線は、鉄道遺産の宝庫として知られ、13基掘られたトンネルのうち11基は、現在も地域に密着した文化財として生き続けています。石やレンガ積みの壁面など明治の技術を感じたり、各地域の食を楽しんだりと、鉄道遺産の数々から当時の姿に思いを馳せることができます。

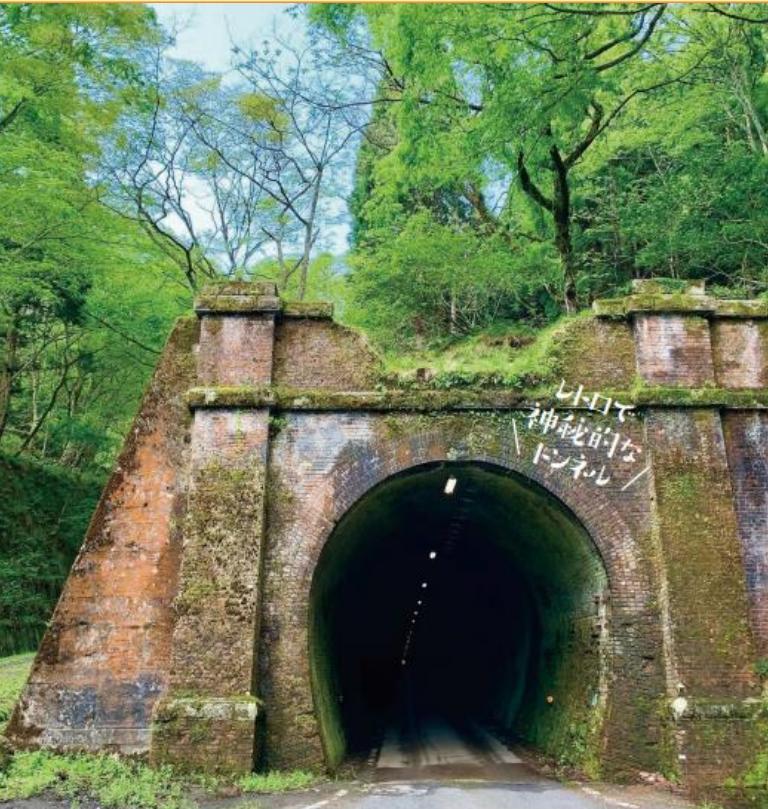
シベリア経由欧亜連絡切符



海を越えた鉄道 ～世界へつながる 鉄路のキセキ～

世界へつながる 鉄路のキセキ

古くから大陸の玄関口として栄えたまち、
物流の革命をもたらした
待望の鉄道計画。



旧北陸線の敦賀一今庄間の13基のトンネルのうち、最も長いトンネル(1,170m)が「山中トンネル」。平成28年(2016)に、国道207号中にある他の旧鉄道トンネルなどと合わせて国の登録有形文化財となった②

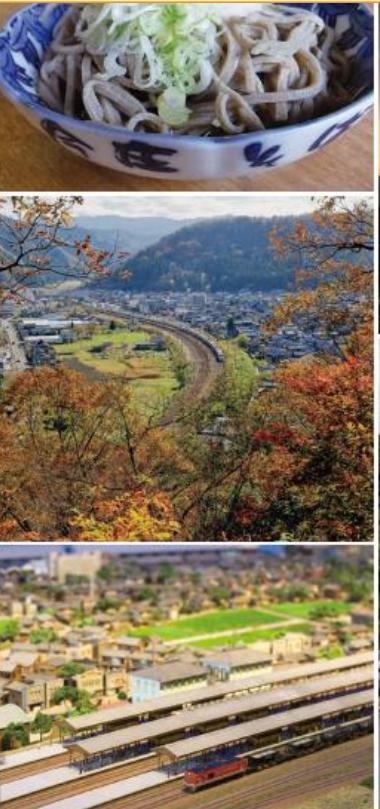
敦賀。古来より日本海側の物資は、敦賀から琵琶湖を経て関西へ運ばれていましたが、過酷な峠を越えなければなりませんでした。そこで、明治2年(1869)に日本海と太平洋をつなぐプロジェクトとして、琵琶湖―敦賀間の鉄道敷設が閣議決定されたのです。明治15年(1882)日本海側で初の鉄道が敦賀まで敷設され、2年後には長浜―敦賀間で柳ヶ瀬トンネルが開通し、日本海と内陸部を結ぶ旧北陸線が開業しました。明治29年(1896)には、急勾配の難所・山中越えを含む敦賀―福井間が開通しました。昭和37年(1962)の北陸トンネル開通によって旧北陸線が廃線になった後も、鐵道跡は地域に密着した文化財として生き続けています。そのなかでも、敦賀と南越前町の今庄との間に掘られた鉄道遺産「旧北陸線トンネル群」は圧巻です。13基のトンネルのうち11基が現在も残されており、石やレンガ積みの壁面など当時の技術を見ることができます。ほかにもスイッチバック跡や暗渠などの鉄道遺産が数多くあり、明治の土木技術を今に伝えています。

当時、敦賀・今庄の両駅では越えの準備のためすべての機関車が停車しました。停車時間を利用して各駅では弁当や新聞などの立ち売りが行われ、敦賀駅で販売された「鰻餅」は、駅弁やお土産の人気商品に。また、今庄駅では停車中にホームで食べる「立ち食いそば」が評判となり、「今庄そば」として現在も親しまれています。

国際都市の文化が残る敦賀と北国街道の宿場町だった今庄、それぞれのまちをめぐると、鉄道を通じて息づいてきた建物や文化に出会うことができます。北陸新幹線敦賀延伸によりさらに深まる鉄道の歴史と、地域の魅力を見つける旅を楽しんでみてください。



- ①柳ヶ瀬トンネル／敦賀市、長浜市
- ②山中トンネル／敦賀市、南越前町
- ③曲谷トンネル／敦賀市
- ④敦賀赤レンガ倉庫／敦賀市
- ⑤杉津の景観／敦賀市



右上／杉津PAにある展望台から望む敦賀湾の絶景パノラマ⑤
右下／敦賀赤レンガ倉庫、北棟・南棟・漆喰壁が国の登録有形文化財④
左上／福井県を代表する昔ながらの田舎そば「今庄そば」⑤
左中／今庄宿は、北国街道の要衝として繁栄した宿場町④
左下／赤レンガ倉庫内、敦賀の町名を再現したノスタルジオラマ④



●公式HP
海を越えた鉄道
長浜市・敦賀市・南越前町
観光連携協議会

【引用：ふくトリップ～ふくい日本遺産を巡る旅～】

荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間 ～北前船寄港地・船主集落～

日本海や瀬戸内海沿岸には、山を風景の一部に取り込む港町が点々とみられます。そこには、港に通じる小路が随所に走り、通りには広大な商家や豪壮な船主屋敷が建っています。

また、社寺には奉納された船の絵馬や模型が残り、京など遠方に起源がある祭祀が行われ、節回しの似た民謡が唄われています。

これらの港町は、荒波を越え、動く総合商社として巨万の富を生み、各地に繁栄をもたらした北前船の寄港地・船主集落で、時を重ねて彩られた異空間として今も人々を惹きつけてやみません。

江戸時代、北海道・東北・北陸と西日本を結んだ西廻り航路は経済の大動脈であり、この航路を利用した商船は北前船と呼ばれました。北前船は、米をはじめとした物資の輸送から発展し、船主自身が寄港地で仕入れた多種多様な商品を、別の寄港地で販売する買い積み方式により利益をあげたことから「動く総合商社」と形容されています。

日本海や瀬戸内海沿岸に残る数多くの寄港地・船主集落は、北前船の壮大な世界を今に伝えています。

構成文化財の一例

洲崎の高灯籠

旧笙ノ川の河口の左岸に薦が絡んだ石積みの灯籠。船問屋であった庄山清兵衛が1802年に建てた高灯籠で、当時は毎夜、灯籠がともされ、出船入船の目標として、重要な役割を果たした、日本海側で最古の石積み灯台です。



旧古河屋別邸

江戸時代に小浜市を拠点に活躍した北前船の商人「古河屋」の五代目が小浜藩のお殿様などをもてなすために建てた建物。2021年に同地を管理している若狭塗り箸製造卸会社「株式会社マツ勘」によりリニューアル。カフェやコワーキングスペース、イベント等催しを通じた憩いの場として生まれ変わりました。

旧料亭「酔月」

北前船の船主たちが利用した明治初期に建てられた料亭「酔月」。現在は「町並みと食の館」として活用されており、小浜の食を堪能することができます。

日吉神社奉納模型船

日吉神社は早瀬に鎮座しており、船絵馬や北前船を模したと考えられる模型船など、氏子であった北前船主が海上安全などを願い奉納された。



おぼろ昆布

敦賀は全国有数の昆布加工の産地で、北前船の時代から続く歴史あり。おぼろ昆布は国内シェア8割。職人の専用包丁で削り出される薄絹のような昆布。



奉納船と神体船



若狭地方では奉納船の分布が顕著であり、とくに小浜市内にその密度が高い。比較的、保存がよい状態で、6神社で7船の事例が確認できる。特筆すべきは、奉納船が神体船として船玉神社に祀られていることである。7船中5船(4神社)がそうであり、これは他地方にあまりみられない伝承である。

美浜町丹生の龍溪院に伝來した3点の船絵馬



北前船の船乗りによって金毘羅神社に奉納されたものです。中でも1802年の記年がある絵馬は、現在町内で知られている北前船に関わる資料の中で最も古いものであるとともに、福井県内における船絵馬の中でも最古級です。

荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間 ～北前船寄港地・船主集落～

船

荒波を越えた 男たちの夢が紡いだ異空間



三国湊町家館は、福井藩三國湊で材木商を営んだ、新屋屋・岸名忠助が住んでいた町家「旧岸名家」に隣接した観光案内所。北前船で栄えた三国湊のレトロな町並みの中心に位置し、観光情報や着物レンタルもあり



右上／小浜市北堀屋の県指定有形文化財「旧古河屋(ふるかわや)別邸(透軸・襖松園(ごしゃうえん))」⑩ 右下／江戸～明治時代の北前船主の繁栄ぶりを祝ふ町並み(河野北前船主通り)⑪ 左上／敦賀市に鎮座する、北前船總鎮守 越前國一之宮 氷比神宮⑫ 左中／北前船主の館 右近家には北前船の模型や貴重な資料を展示⑬ 左下／北陸三大祭の一つ「三国祭」で町中を巡行する、巨大な人形山車(やまと)



- ①坂井市龍翔博物館／坂井市三国町鍵ヶ丘4-2-1
- ②瀬谷寺／坂井市三国町瀬谷1-7-15
- ③右近家住宅・中村家住宅／南越前町河野
- ④氷比神宮／敦賀市蹠町11-68
- ⑤旧古河屋別邸(襖松園)／小浜市北堀屋17-4-1

た財力の名残が、建築物や祭りの山車など
の伝統文化に見られます。小浜市の「旧古
河屋別邸(襖松園)」は透床面積350平方
メートルの2階建てで敷き間仕切りで、藩主な
どの賓客を迎える迎賓館として建造され
ています。敦賀市は北前船によつてもたらさ
れました。北前船の物語や壮大な海路のロマン
が感じられ、関わった人々が遺した品々か
らは当時の賑わいが聞こえてくるようです。

船主たちの痕跡を巡れば、心が浮き立つ
ような北前船の物語や壮大な海路のロマン
が感じられ、関わった人々が遺した品々か
らは当時の賑わいが聞こえてくるようです。

さまざまな文化が混じり合
い
情緒あふれる港。

福井県の中でも三国や敦賀、小浜エリア
は、現代でもそこかしこに漬町ならではの
情緒があふれ、かつての貿易や交流の名残
を伝える地域です。まだ日本に鉄道がない
江戸から明治にかけての物流の中心は、内
陸ではなく海路でした。藩同士の貿易は、船
を使って行われ、のちに商人や船主が船を
使い、寄港地で商品を売買し、莫大な利益
を上げるようになりました。主なルートは、
大阪から瀬戸内海を経由して日本海を北
上し、蝦夷・津太まで行く西廻りの航路で
す。北国の物資を運んでくることから「北前
船」と呼ばれるようになります。人や文化も各
地に伝えました。福井県でも坂井市にその
建造物が残る「旧森田銀行本店」の森田家
や内田家、岸名家、南越前町の右近家、小
浜市の古河家などの豪商が莫大な富を築
き、多くのエピソードとともに各地の資料
館で当時の面影を覗ぶことができます。

坂井市の「旧森田銀行本店」は大正期当
時の日本の最先端の技術によるシックな古
典主義的西洋建築で、国の登録有形文化財
となっています。南越前町には「北前船主の
館 右近家」が資料館として残り、別荘の西
洋館は、1階はスパニッシュ風、2階はイス
の山小屋風の建築で館内のはしづらえも見事
です。敦賀市は北前船によつてもたらさ
れました。北前船の物語や壮大な海路のロマン
が感じられ、関わった人々が遺した品々か
らは当時の賑わいが聞こえてくるようです。

【引用：ふくトリップ～ふくい日本遺産を巡る旅～】



公式HP
北前船日本遺産推進協議会
北前船日本遺産推進協議会

敦賀市エリア

敦賀市の観光情報



敦賀市エリア(主な観光スポット)



氣比神宮【2024年118万人】

仲哀天皇ほか六座を祀り、「越前一の宮」「北陸道総鎮守」とも称される古社です。大鳥居は、木造としては、「広島・厳島神社」「奈良・春日大社」と並ぶ日本三大木造鳥居のひとつで、国の重要文化財に指定されています。



氣比の松原【2024年10万人】

白砂青松の景勝地で、日本三大松原のひとつに数えられ、国の名勝にも指定されています。アカマツとクロマツが入り混じる風景は約40万平方メートルにも及び、季節ごとに変わる美しさで、訪れる人の目を楽しませてくれます。



水島

敦賀半島の先端に浮かぶ小さな無人島です。透明度の高い水質と白砂が特徴で、「北陸のハワイ」とも呼ばれています。海水浴場の時期には家族連れやカップルが多く訪れます。海水浴期間中は毎日運行している渡し舟に乗って島に渡ります。



金崎宮【2024年16万人】

金ヶ崎城址の麓にある神社で、約400本のソメイヨシノがある桜の名所です。明治時代、金崎宮へ桜見物に訪れた男女が「花換えましょう」と声をかけ合い、桜の小枝を交換することで思いを伝えたそうです。「花換え」をしたカップルは将来幸せに恵まれるといわれ、いつしか金崎宮は「恋の宮」と呼ばれるようになりました。



西福寺

約650年前、良如上人が開いた浄土宗鎮西派の旧・中本山です。御影堂・阿弥陀堂・書院などの主要建物が国の重要文化財に、書院庭園が国の名勝に指定されています。特に書院庭園は極楽浄土を表現したと言われ秋の紅葉が美しい。

敦賀市エリア(主な観光スポット)



人道の港敦賀ムゼウム

敦賀港は、明治から昭和初期にかけて、ヨーロッパとの交通の拠点としての役割を担い、1920年代にポーランド孤児、1940年代に「命のビザ」を携えたユダヤ難民が上陸した日本で唯一の港です。数々の苦難を乗り越えて敦賀に降り立ったポーランド孤児とユダヤ難民の史実などを展示しています。



敦賀市立博物館

建物は昭和2年に建てられた旧大和田銀行本店です。国の重要文化財に指定されており、当時の敦賀港の繁栄を象徴する豪華なつくりで、北陸で最初のエレベーターや大理石のカウンター、見上げるほどの大金庫など建物も見所満載です。



おぼろ昆布手しき体験

敦賀市は、日本遺産「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」の構成要素がいくつもある北前船寄港地です。北前船がもたらした食文化で地場産業である「手しきおぼろ昆布」。この地に根付いた職人の技を見て、そして体験していただけます。



敦賀真鯛一本釣り・捌き体験

敦賀が誇るブランド養殖魚「敦賀真鯛」がいる専用筏へ船で行き、そこで「敦賀真鯛」の一本釣りを体験していただきます。その後は、「敦賀真鯛」のさばき方を教わることもでき、三枚おろしの体験後、さばきたてのタイのお刺身やあぶりなど実食することができる贅沢な体験です。



みなとつるが山車会館

敦賀まつりで巡行する山車を展示しています。6基の山車のうち3基が展示されており、スクリーンシアターで迫力ある山車巡行の映像が見られるほか、山車に飾られる甲冑や能面を見ることができます。

敦賀市エリア(鉄道遺産関係)

敦賀は古くから大陸への玄関口として栄え、近代に入ると日本海側で最初に鉄道が走るなど、港と鉄道の街として発展してきました。

旧北陸線トンネル群

明治29年(1896)、旧北陸線の敦賀—福井間が開業しました。なかでも険しい山々と急勾配が続く敦賀—今庄間には12基のトンネルが掘られ、そのうち11基が現在も残されており、日本三大廃線トンネル群の一つです。現存する『日本最古』の鉄道トンネルもあります。



敦賀鉄道資料館

とんがり屋根が印象的な旧敦賀港駅舎。「欧亜国際連絡列車」の発着駅としてかつて重要な位置を占めていた敦賀港駅舎を1999年に再現。敦賀の鉄道に関する歴史を紹介し、鉄道資料や列車模型などを展示しています。

敦賀赤レンガ倉庫【2024年14万人】



天然の良港、敦賀港は、わが国の表玄関として古くから栄えてきました。明治期に外国人技師の設計によって建てられたレンガ倉庫があり、石油貯蔵庫や昆布貯蔵庫として使用されていました。平成27年にリニューアルオープンし、この敦賀の赤レンガの北棟が鉄道と港の『ジオラマ館』、南館が赤レンガ空間を楽しみながら食事ができる『レストラン館』として、生まれ変わりました。



敦賀市エリア(北陸新幹線敦賀駅西口周辺)

北陸新幹線開業に向け敦賀駅西地区には、ホテルや飲食・物販テナント、子育て支援施設、知育・啓発施設などが新たにオープンしました。



【ワンランク上の宿泊拠点】

「ホテルグランビナリオTSURUGA」(全131室)

【本を通じて世界がひろがる「知」の拠点】

全国的に珍しい公設書店で3万冊を超える書棚空間を持つ「TSURUGA BOOKS & COMMONS ちえなみき」

【賑わいを生み出す「食」を発信】

地元敦賀の海産物や海外グルメなどバラエティーに富んだ飲食店舗や名産・お土産などの物販店舗

【市民の憩いと交流の「公園・広場】

各種イベントの開催など市民の憩いや交流の場となる「公園・広場」

美浜町エリア

美浜町の観光情報



美浜町エリア(主な観光スポット)

若狭国吉城歴資料館



戦国時代の山城である国吉城址と、その城下町として造られた佐柿の歴史的な町並みをご紹介する資料館です。国吉城は、今から450年ほど前に築かれた山城で、越前朝倉氏の侵攻を10年近くに渡り撃退し続け、後に織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の三英傑を迎えていました。佐柿の町は城下町として整備され宿場として栄えました。現在も当時を髣髴とさせる町並みや風情が色濃く残ります。

道の駅「若狭美浜はまびより」【2024年42万人】



JR美浜駅前に位置する道の駅です。屋根付きイベント広場と一体となった開放的な空間や公園的広場を整備。2階建ての施設内には、地元農林水産物直売所「みはまの市場」、飲食施設や子育て交流施設があります。

みはまの市場



青果は美浜町を中心に、プロの目利きとノウハウにより集めています。生産者の想いの詰まった产品を中心に、毎日の食に<美味しい！楽しい！発見！感動！>を提供します。

美浜町エネルギー環境教育体験館きいぱす



エネルギーに特化した様々な体験を通して、身近なエネルギーの特徴を紹介する施設。発電体験の他、バッテリーカーや立ち乗り電動二輪車の乗車体験などができる、大人も子供も楽しめます。

水晶浜海水浴場



ダイヤ浜海水浴場



県内外から海水浴客が訪れる海水浴場。砂粒が細かく、きらめく白い砂が特長。早朝からウインドサーフィンなどのマリンスポーツを楽しむ人々も訪れるスポット。

美浜町エリア(体験・アクティビティなど)

新庄渓流の郷



つかみ取り、釣りやバーベキューを楽しめます。初心者でも簡単に釣ることができ、釣った魚をその場で炭焼きで食べることもできます。新緑・紅葉、澄んだ水、あふれる太陽の下で日常を忘れてのんびりとしたひとときを過ごせます。



若狭美浜HAMABERRY

どなたにでも好まれる甘みと酸味のバランスのとれた『紅ほっぺ』、甘味・酸味・風味が四つ星級においしい『よつぼし』など、多品種のいちごを揃えています。



若狭国吉城 茶の湯と歴史の旅

国吉城歴史資料館の座敷で、茶の湯の体験をします。趣のあるお座敷で、一期一会、和敬清寂の一端を体験してください。10年に亘る猛攻を防いだ難攻不落の城「国吉城」の史料が展示された佐柿国吉城資料館で、当時の様子が学べます。

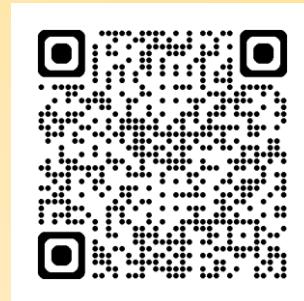


日向の水中綱引き

午前中に、太さ30cm・長さ40メートルもの綱を、日向湖と日本海をつなぐ運河に渡され、色とりどりのハチマキ、さらしの腹帯、パンツ1つの格好をした若者たちが「たいこ橋」の欄干から水中に飛び込みます。午後からは多くの見物客に見守られ、全身を真っ赤にしながら、綱切りの競い合いが行われます。

三方五湖エリア (美浜町・若狭町)

美浜町の観光情報



若狭町の観光情報

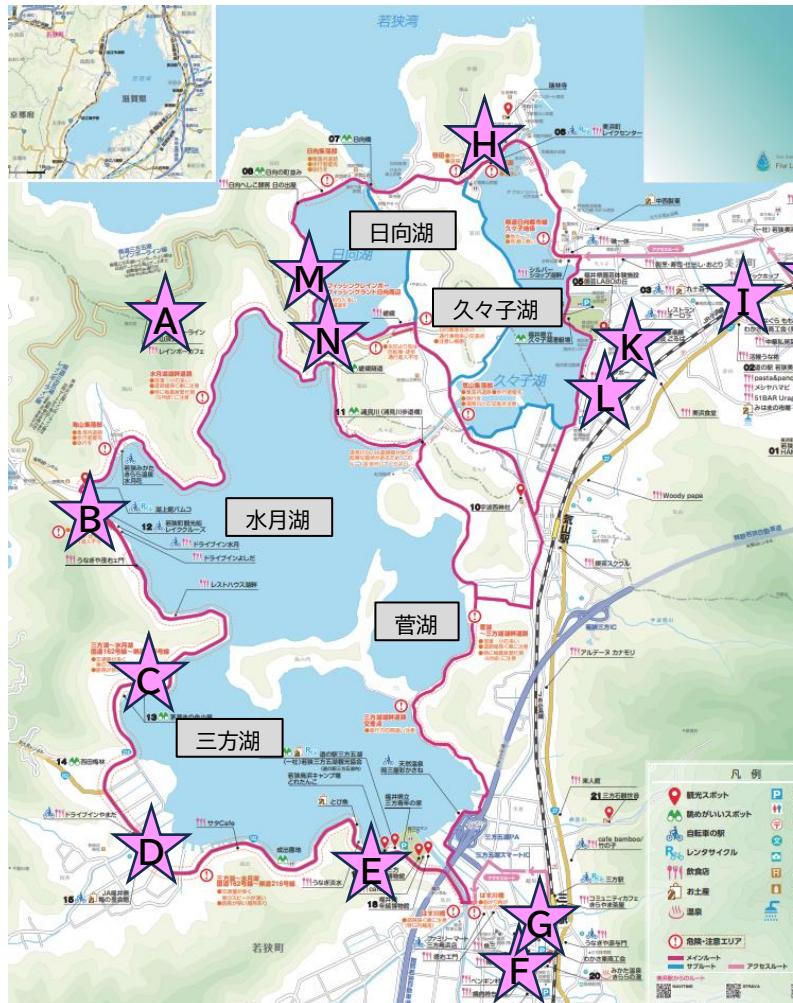


三方五湖エリア(美浜町・若狭町)

三方五湖は、福井県美浜町と若狭町にまたがる三方湖、水月湖、菅湖、久々子湖、日向湖の5つの湖の総称です。

水質や水深が違い、すべて濃さの違う青色に見えることから「五色の湖」と呼ばれています。レインボーラインは、五湖と日本海のダイナミックな景観が楽しめます。
(2005年11月ラムサール条約湿地に登録／2019年漁業文化が日本農業遺産に認定)

A レインボーライン山頂公園



H 美浜町レイクセンター

I 九十百千(こともち)

J 道の駅若狭美浜はまびより

K 園芸LABOの丘

L 健康楽膳施設こるば

M フィッシングレインボー

N フィッシングランド日向

ゴコイチサイクリングコース
マップ上のピンクの太線が
三方五湖一周サイクリングコース
【レンタサイクル】

美浜駅(美浜観光協会)
三方駅、道の駅三方五湖、パムコ

D 梅の里会館

E 縄文口マンパーク

- ・年縄博物館
- ・縄文博物館
- ・道の駅三方五湖
- ・三方五湖自然観察棟
- ・若狭鳥浜キャンプ場とれたんこ

F ウエディングドレスの聖地
「BRIDAL LAND WAKASA」

G みかた温泉きららの湯

三方五湖エリア(主な観光スポット)



レインボーライン山頂公園【2024年47万人】

第一駐車場からリフト・ケーブルカーで上った先にある山頂公園(標高約400m)は、名勝三方五湖・若狭湾が一望できる360°パノラマビュー。足湯やソファーテラスなどの5つのテラスからの眺望は、まさに絶景。



美浜町レイクセンター

太陽光パネルで発電した電力を、船内のリチウムイオン2次電池(約300kWh)に蓄え運航します。静謐性が高く、穏やかな湖面をゆったりと進む約50分のクルーズで、三方五湖の豊かな自然を楽しめます。基本コースは、久々子湖を出発し、浦見川を通過して水月湖をめぐる約50分のコースです。船内ガイドが見所の紹介や遊覧船の仕組みを解説します。



若狭町観光船レイククルーズ

水月湖と菅湖をめぐる、約40分間のクルージングを楽しむ遊覧船。バードウォッチングなど楽しみ方もいろいろ



園芸LABOの丘

『学ぶ』、『作る』、『食べる』の体験を通して、楽しみながら園芸への理解を深めることができる体験・展示施設です。



梅の里会館【2024年10万人】

若狭町特産の福井梅を使った自家製の梅干しをはじめ、梅酒や梅ソフトなどの梅加工品を数多く製造・直売しています。



健康楽膳施設こるば

レストランは旬の野菜や果物を使った料理、直売所ではくぼ丸なすなど地元の野菜や、へしこやお米、トマト、ブドウなどをご用意しております。



ウエディングドレスの聖地「BRIDAL LAND WAKASA」

世界的なブライダルファッショントレーナーYUMI KATSURAのドレスミュージアム「YUMIKATSURA MUSEUM WAKASA」では年代ごとのアーカイブ・ドレスや、有名人夫妻の挙式衣装など、約60点を常設展示。また、銀婚金婚式、誕生日などの記念日体験、またカフェオリジナルグッズの販売、フォトスタジオでの自撮り撮影などを楽しめます。

三方五湖エリア(縄文ロマンパーク)

縄文博物館

【2024年4万人】



縄文遺跡から出土した丸木舟や縄文土器、鳥浜貝塚の出土物などが展示されています。竪穴式住居が再現されている縄文広場などの憩いの場もあります。

年縄博物館【2024年5万人】

「水月湖」の湖底に残る、7万年以上の歳月をかけて積み重なった地層の縄模様「年縄(ねんこう)」は世界的に非常に貴重で、考古学や地質学における「世界標準のものさし」として、年代測定の精度を飛躍的に向上させました。年縄に特化した世界で唯一の博物館で、他の博物館の模範となる展示内容や研究成果等が高く評価され、2021年に「第2回日本博物館協会賞」、2023年に「科学ジャーナリスト賞特別賞」を受賞しました。



日本海側最大の梅の産地であることから直売所には梅加工品が数多く取り揃い、旬の時期には店内にいい香りが漂う。観光案内所には観光施設や宿泊の案内、レンタサイクルもあります。

道の駅三方五湖【2024年25万人】



三方五湖自然観察棟



野鳥や生き物たちを観察することができ、春夏秋冬、多様な種に出会うことができます。希少種を探索する醍醐味もあります。自然の恵みを生かした様々な体験メニューもあります。

若狭鳥浜キャンプ場 とれたんこ



目の前にはラムサール条約登録湿地の三方五湖。車で15分ほどで若狭湾の海水浴場や釣り場に行くことができ、若狭エリアの観光拠点としてもご利用ください。400年続く伝統漁法の見学体験や、バーベキュー用の天然うなぎの提供も行っています。

三方五湖エリア(体験・アクティビティ)

福井県海浜自然センター【2024年12万人】



若狭の海にすむ魚に直接エサを与えることができる「ふしぎな水そう」や、魚に触れることができる「福井の海にタッチしよう」、若狭湾や三方五湖の生きものや環境について学ぶことができるコーナーなど、一日いても飽きない体験型スポット。屋外では、初夏から秋にかけてスノーケリングや磯の生きもの観察などの自然観察講座、屋内では一年を通じてしじみストラップ作りや海の万華鏡作りなどのクラフト講座を開催している。

あそぼーや カヤック トレッキングなど



フィッシングランド日向



日向湖で初級者から上級者まで幅広く、また家族連れでも楽しむことができます。周辺には昔ながらの港町の風景が広がり、田舎の情緒をたっぷり味わうことができます。

フィッシングレインボー



日向湖で初心者から上級者まで気軽に釣りを楽しむことができます。釣りの合間に目に映る風景からは漁師町の風情を感じることができます。

熊川宿エリア (若狭町)

若狭町の観光情報



熊川宿エリア

【2024年50万人】



熊川の宿は、若狭から京都を結ぶ重要な宿場で、奉行所・番所・お蔵屋敷の跡が残り、情緒あふれる街道沿いには、昔ながらの用水路が流れています。豊臣時代から藩政末期におよぶ古文書・御用日記なども保存されています。熊川宿は、重要伝統的建造物群保存地区に選定され、往年の繁栄を偲ぶ町並みが保存されています。平成27年に熊川宿を含む鰐街道が「～御食国若狭と鰐街道～」として日本遺産に認定されました。

熊川宿エリア

【2024年50万人】

若狭鯖街道熊川宿資料館 宿場館



昭和15年に、熊川出身で伊藤忠商事二代目社長伊藤竹之助が建築した旧熊村役場。資料館として保存活用され、鯖街道関係の資料や民具などを展示

旧逸見勘兵衛家住宅



熊川村の初代村長逸見勘兵衛の子息で伊藤忠商事二代目社長となった伊藤竹之助翁の生家で、熊川を代表する町家のひとつ。



前川に面する大きな店構えから大きな経済力を持った問屋の風格を感じることができる大型の古民家をリノベーションし、複数の事業者などが共同で間借りするシェアオフィスとして生まれ変わりました。

熊川宿にある主な宿泊施設

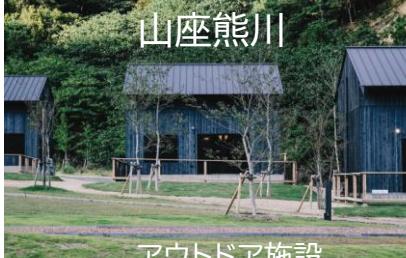


八百熊川



熊川宿勘兵衛

古民家や蔵をリノベーション



山座熊川



若州忍者道場

忍者服レンタルや、道場案内、手裏剣投げ体験など

熊川番所



歴史的考証を行いながら復原され、一般公開されている文化展示施設で、全国唯一、伝建地区内に元位置のまま現存する番所建物

鯖街道ミュージアム



白壁土蔵造りの資料展示館。マンガで知る「鯖街道ミュージアム」として京都精華大学マンガ学部とコラボレーション。鯖街道の歴史を分かりやすく紹介。



道の駅若狭熊川宿

熊川宿エリア(アウトドア)



ワイルド禅ツアー

曹洞宗の僧侶が禅のやり方や作法等の心得をお伝えします。熊川の里山の中で自然の音を聞きながら心を落ち着け、じっくりと内面を見つめる体験。



里山トレイル

山座熊川をベースに三十三間山、駒ヶ岳をハイキング。四季折々のブナの森、琵琶湖、若狭湾の景色をお楽しみ頂けます。



明神湖で冒険SUP

周囲を囲む森林からは鳥の声や虫の声が聞こえ、美しい風景に心地良い自然の音に囲まれながらリラックスした時間を過ごすことができます。

穏やかな湖を自分のペースでゆっくり漕げるので小さなお子様や体力に自信のない方でも十分に楽しめます。



明神湖で冒険カヤックツアー

湖上でのんびりと四季折々に変化する自然豊かな景色をお楽しみいただけます。

安定感の非常に高いカヤックを使用し、穏やかな湖を自分のペースでゆっくり漕げるので小さなお子様や体力に自信のない方でも十分に楽しめます。

小浜市エリア

小浜市の観光情報



小浜市エリア



御食国若狭おばま食文化館



若狭小浜お魚センター



エンゼルライン



箸のふるさと館



道の駅若狭おばま[2024年36万人]



若狭フィッシュヤーマンズワーフ
(蘇洞門遊覧船乗り場)



鰯街道ミュージアム



小浜市まちの駅・旭座



ブルーパーク阿納

八ヶ寺

明通寺、神宮寺、萬徳寺
妙樂寺、圓照寺、國分寺
多田寺、羽賀寺

若狭彦神社
若狭姫神社



小浜市エリア(神社・仏閣)

古代、小浜は、奈良や京の都の食文化を支える「御食国(みけつくに)」として、また、海を渡って往来する人と物資の大陸との玄関口として、それぞれの重要な役割を持つ拠点として存在していました。古くから海のある奈良と呼ばれ、仏教が政治的にも勢力を持った時代、小浜にも多くの寺院が建立され、現在も国宝や重要文化財を中心とした古刹や仏像が現存しています。

明通寺



征夷大將軍・坂上田村麻呂が「平和」を祈って建立。本堂と三重塔は県内唯一の国宝建造物です。(真言宗御室派)

神宮寺



奈良・東大寺の二月堂への”お水送り”はこの神宮寺の神事として有名。力強い木造金剛力士像を安置した仁王門(北門)は重要文化財。神宮寺には、神様と仏様がいらっしゃいます。(天台宗)

萬徳寺



秋の山もみじの朱が、山水庭園に見事に映え、春はツツジが見もので、四季を通じて自然があふれる。(高野山真言宗)

常高寺



浅井三姉妹の次女・お初(常高院)が、夫・京極高次の菩提を弔うため建立。お初も常高寺に葬られている。

若狭彦神社



1300年余りの歴史を有する、若狭國一宮若狭彦神社。祭神は、彦神社は彦火火出見尊(山幸彦)、姫神社は豊玉姫命(乙姫)であり、共に、海上安全・海幸大漁の守護神として信仰されています。

若狭姫神社



若狭歴史博物館



若狭地方の豊かな歴史や民族文化をわかりやすく紹介



市内に現存する神社仏閣の中でも、国宝や国・市の重要文化財などに指定される古刹を中心に八つのお寺は「八ヶ寺」と呼ばれています。時代によって異なる表情を作り出している仏像に驚くほど近くで出会えます。

小浜市エリア(伝統・文化)

伝統工芸 若狭塗

小浜藩の御用塗師「松浦三十郎」が海底の様子を意匠化して考え出したのがはじまりです。質素儉約を美德とする徳川時代では、華麗な若狭塗りは一部の公家や武家、裕福な商家で使う調度品のみに扱われました。若狭塗に汁椀などの庶民的な道具が少ないのでそのためです。1862年皇女和宮が徳川家に御降家のお支度品の塗物はすべて若狭塗で整えられました。「若狭塗箸」は日本の塗箸の80%以上の生産量を占めます。あなたが今お使いのお箸も若狭塗箸かもしれません。



小浜市まちの駅／旭座【2024年7万人】



観光案内・物販、休憩施設等と併せ、小浜西組重伝建地区へのまち歩き観光拠点になります。福井県内で唯一現存する明治期の芝居小屋「旭座」を移築復原。落語を含めた様々なイベントが定期的に実施されています。



かつての茶屋街「三丁町」

狭い路地をはさみ、紅殻格子や出格子の家や料亭が軒を連ね、落ち着いた雰囲気の中に往時の面影を残しています。



小浜放生祭

380年以上の歴史と伝統を誇る若狭地方最大の秋祭り(福井県無形民俗文化財)。八幡神社の例大祭。旧小浜町内の氏子24区が、半数ずつ隔年で、大太鼓・神楽・獅子・山車・神輿など多彩な演し物を繰り出し、神社への奉納をはじめ、各区で芸囃子を披露してまわります。笛や太鼓の音があちこちから聞こえ、町は祭り一色に彩られます。

小浜市エリア(体験・アクティビティ)



蘇洞門(そとも)めぐり遊覧船【2024年31万人】

日本海の荒波がつくりあげたダイナミックな景観をご覧いただく約60分のクルージングです。長さ6キロの断崖美と奇岩・洞門が織りなす歴史ロマンを満喫する旅。



御食国若狭おばま食文化館【2024年14万人】

食にまつわる歴史・文化や伝承料理などを展示する「ミュージアム」、郷土料理などを作り味わう「キッチンスタジオ」、若狭塗箸など伝統工芸体験ができる「若狭工房」、癒しを提供する「濱の湯」があります。

また、若狭おばまの伝統工芸を受け継ぐ匠たちがその技を実演するとともに、箸研ぎや紙すきなどの体験を通じて伝統に触れることができます。若狭塗箸などの工芸品の販売も行っています。

箸のふるさと館WAKASA



若狭塗箸を約3000種類展示販売。箸の研ぎ出し体験が人気で、自分だけの箸を作ることができます。毎年8月4日には恒例の箸まつりが行なわれます。

ブルーパーク阿納



釣堀で、マダイや小鯛の釣り体験を楽しんで、釣った魚のさばき体験やバーベキューもできます。

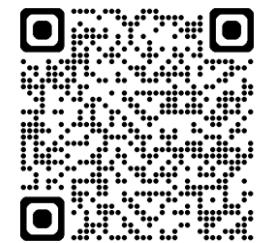
おおい町大飯エリア

おおい町の観光情報



大飯エリア(うみんぴあ大飯)

遊び・学び・癒しの海辺リゾート「うみんぴあ大飯」は、スパ、グルメ、レジャー、学びが融合。海と一体化した道の駅、海を一望できるリゾートホテル、海水を利用したアトラクションプールや露天風呂、日本海側最大級のマリーナなど、多彩な施設が揃い、訪れる人々に豊かな体験を提供します。



大飯エリア(うみんぴあ大飯)



SEE SEA PARK(シーシーパーク)【2024年36万人】

カフェダイニングをはじめとし、ファッショントアやエステ等が入居するテナントエリア、おおい町商工会やおおい町観光協会等、町の商工観光を担う事業所等が入るオフィスエリアを併設しています。

道の駅うみんぴあ大飯【2024年29万人】

おおい町の海産物や農産物、加工品等の物販と観光についての情報発信、昼食等のお立ち寄り施設で自然の景観も満喫できる海の見える「道の駅」

こども家族館【2024年32万人】

ものづくりやクッキングが体験できる工房ゾーン、大型帆船や日本最大級のボールプールに加え、屋内では国内最大級のクライミングウォールが楽しめるあそび体験ゾーンなど家族皆で楽しめる体験型大型児童館です。

エルガイアおおい

エネルギーの未来や地球の未来について、様々なアトラクションを通じて楽しみながら学び、考え、発見できる施設。世界最大級のカーブスクリーンとバーチャルリアリティ映像システムを採用したシアターによる新感覚の映像体験など見所盛りだくさん。

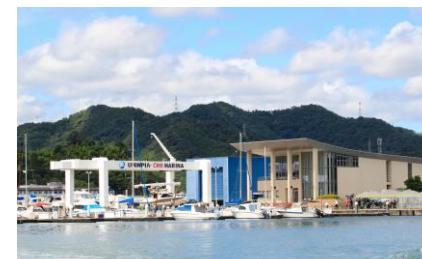
うみんぴあ大飯マリーナ



オーシャンリゾートホテル

&スパうみんぴあ

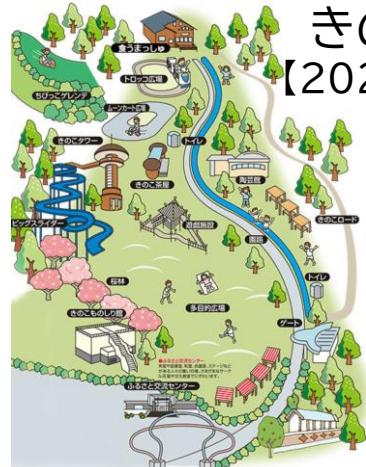
全室オーシャンビュー。若狭湾を照らす朝日から青葉山に沈む夕日まで自然が織りなす癒しを感じていただけます。



日本海側
最大級の
マリーナ

大飯エリア(主な観光スポット)

きのこの森
(2024年4万人)



特産品のきのこをモチーフにしたテーマパーク。シンボルのきのこタワーは高さ30mの展望台。全長460mのビッグスライダーや人工芝のソリ用ゲレンデなど子供が大満足の遊具が充実。陶芸体験、キノコ観察や自然散策も楽しめます。



若州一滴文庫

大飯郡本郷村(現:おおい町)出身の作家、水上勉氏が故郷に設けた文学館。水上氏の蔵書2万冊を収めた図書室、書画展示室を含む木造2階建ての本館、竹人形文楽が上演されるくるま椅子劇場などがあります。谷間に溶け込むたたずまいの建物にも氏の想いが反映されています。



くだもののがかり



いちご狩り体験・ブルーベリー狩り体験・桃の直売や、時期限定で桃の食べ放題が出来る農園です。果物の販売やアイスやソフトクリームの取り扱いもあります。

おおい町情報交差点ぽーたる

国道27号線沿いにある「ぽーたる」では、大阪花博で運行していた実物大のSL義経号が皆さんを迎えてくれます。中に入ると、パノラマ鉄道模型が楽しく動き回り、子どもたちの人気を集めています。



大飯エリア(大島半島)



赤礁崎(あかぐりざき)オートキャンプ場

若狭湾を目の前に、潮騒の音に目覚め、星空の下で楽しいバーベキューを満喫できるキャンプ場です。ゆったりとったオートキャンプ場は80区画。2階建てのログハウスが10棟、ケビンが14棟、炊事場、シャワー、水洗トイレ、コインランドリーなどを完備したサニタリー棟も8ヘクタールのサイト内に4ヶ所設けています。

赤礁崎(あかぐりざき)海釣り公園

初心者や家族連れでも安心して楽しめる海釣りスポット。釣った魚をその場で楽しめるバーベキュー施設も完備。季節ごとに多彩な魚種が釣れ、釣りファンにも人気の高いスポット。



若狭パールMAMIYA(間宮真珠養殖場)

日本最北端の真珠養殖場。冬の寒さが生み出す海水の温度差が、きめの細かい深い光沢を持った真珠を作り出しています。養殖場ならでは、他では手に入らない商品企画やオンリーワンの真珠、オリジナルデザインの商品が並び、真珠アクセサリーの手作り体験もできます。本真珠のバラ珠の袋売りも人気です。



青戸ベイサイドヒルズ

ふれあい広場ではポニーの引き馬体験・エサやり体験が可能(雨天中止)でお子様に人気です。ドッグランもあります。また、アメリカンスタイルのグリルを使用したBBQ施設、キャンプ場の他、多種多様なメニューが充実のレストランも併設。青戸の入江を眺めながら、一日中、ご家族でお楽しみいただける施設です。

おおい町名田庄エリア

おおい町の観光情報



名田庄エリア

暦会館

日本の天文暦学の祖安倍晴明の子孫のある土御門家が3代にわたり、応仁の乱の戦禍を逃れ、この地に移り住んだことにちなんで建てられました。他では見られない昔の天文器具や古い時代の暦など、暦に関する資料が多数の全国でも珍しい暦と天文学に関する資料館で、約1000点の展示物があります。

道の駅名田庄【2024年8万人】

物産館には地元や近隣の特産品が並びます。名田庄特産の自然薯を使った、ここでしか食べられない自然薯ジェラートをぜひご賞味ください。

八ヶ峰家族旅行村

“水源の森100選”“森林浴の森100選”に選ばれた、自然環境と調和したレクリエーション施設です。キャンプ場やバンガロー、古民家を利用した宿泊施設や、「ニジマスつかみ」などいろんな体験メニューが利用できます。

野鹿(のか)の滝

名田庄地区の奥深くにある落差30mの迫力満点の滝です。道の駅名田庄から約7km奥に位置するこの滝は、水量豊富で勇壮な姿を見てくれる名田庄地区の隠れた名所です。

ぼたん鍋



合せみそをベースにしただし汁に猪肉と季節の野菜を入れて煮る名田庄地区の冬の名物料理です。

高浜町エリア

高浜町の観光情報



高浜町エリア

青葉山 登山も人気の高浜町のシンボル「若狭富士」

美しい山容から別名「若狭富士」と呼ばれる高浜町のシンボルです。東峰(693m)と西峰(692m)の2つの峰からなり、見る方向により形が変わります。

高浜から見る青葉山に沈む夕日は「日本の夕陽百選」にも選ばれており、透明な海と青葉山の風景は思わずカメラを向けたくなる景観です。

植物の北限と南限の境にある青葉山は、多様な植物が自生しており「薬草の宝庫」とも呼ばれています。

また古くは修験道の修行の場でもあり、様々な側面のある山です。



青葉山 標高693m



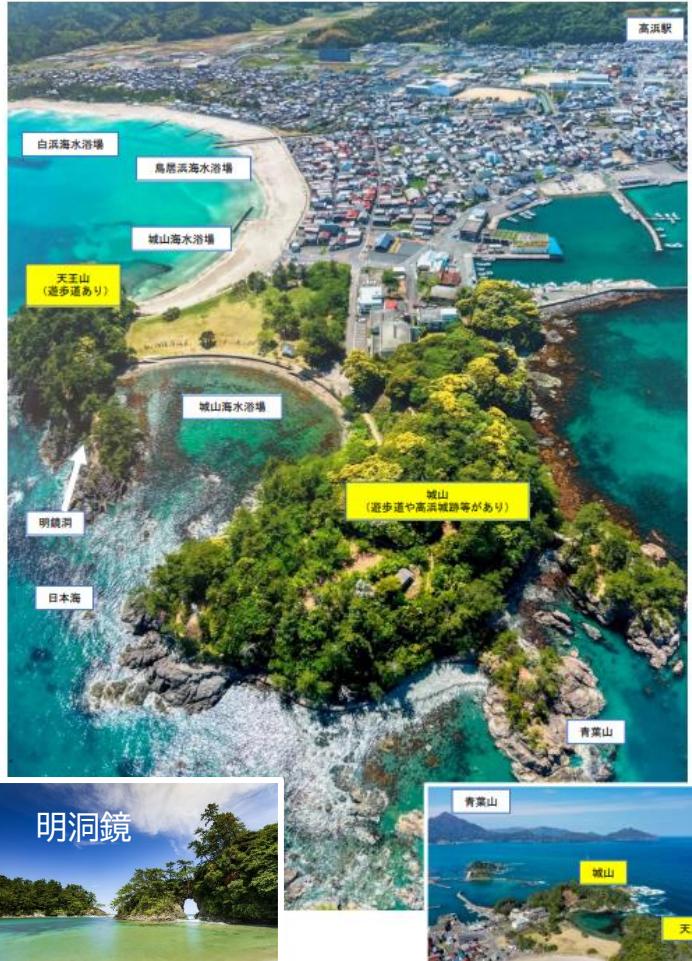
世界が認めるビーチ

町内にいくつもの海水浴場を有する高浜町は、かつて日本有数のリゾート地として広く知られていました。最盛期はひと夏に100万人。民宿や旅館が軒を連ねた和田地区の路地は、いまも当時の面影が残っています。

「100年後もきれいな海を子どもたちへ」の合言葉のもと、若狭和田ビーチは国際環境認証ブルーフラッグをアジアではじめて取得。「日本有数のリゾート地」は、いまは「世界が認めるビーチ」として新たな注目を集めています。

高浜町エリア(城山公園周辺)

城山公園



戦国時代に逸見昌経により築城された高浜城の跡地である城山公園には、高浜町の名勝「明鏡洞」や広い芝生広場があり、公園内には遊歩道が整備されています。遊歩道を歩くと、さまざまな奇岩や若狭湾などの眺望が楽しめます。城山遊歩道を北に行くと、夕陽百景にも選ばれている、青葉山に沈む美しい夕日を鑑賞できます。釣りも楽しめるスポットで、さまざまな遊び方ができます。

魚と旅するマーケット「UMIKARA」【2024年12万人】



店内には、漁港からの獲れたて魚介が店頭に並びます。お土産にピッタリのオリジナル特産品が並ぶショップ「UMIKARA select」や 新鮮な魚介や地元野菜を使ったメニューが楽しめる「うみから食堂」も人気。絶好のロケーションを楽しめる屋上オープンテラス「UMIKARA TERRACE」など、海のごちそうに特化した魚と食の複合型マーケットです。

若狭高浜海釣り公園

防波堤などで一日中釣りが楽しめるスポット。貸し釣竿もあり(数に限りがあります)、初心者から気軽に釣りが楽しめます。



旧丹後街道



旧丹後街道沿いには、板壁やなまこ壁など、古い町屋建築が軒を連ね、風情あるまちなみです。

高浜町エリア(和田ビーチ周辺)



若狭和田ビーチ

国内で初の国際環境認証「BLUE FLAG」を取得した人気のビーチで、バツグンの透明度と遠浅の海、白く広い砂浜が特徴です。景観も良く、日本の夕陽百選にも選ばれています。



若狭たかはまエルどらんど【2024年5万人】

「トロピカルワンダー」では熱帯雨林を再現！ ジャングルの中にあるスリル満点の「空中アスレチック」など屋内に様々なアクティビティが揃っています。天候を気にせずに子どもから大人まで楽しめる施設です。

海辺のいちご畠ジョリーファーム



常時3種類のいちごを栽培しており、食べ比べができるいちご狩りスポット。お天気を気にしないで楽しめます。いちごの他、どら焼きやジャムなどの加工品も販売。

海沿いの散歩道



サイクリングや散策にピッタリの、若狭和田ビーチからはまなすパーク海水浴場まで約7kmにわたる、海眺めながら楽しめる遊歩道。(一部車道もあります)

道の駅シーサイド高浜【2024年14万人】



道の駅シーサイド高浜の限定商品、杜仲茶入りの「たかはま焼き」をはじめ、様々なおみやげ品が揃います。

安土山公園



桜の名所として知られている公園です。標高約80mの安土山に3つの展望台があり、それぞれの展望台から違った風景が楽しめます。

高浜町エリア(青葉山周辺)

青葉山ハーバルビレッジ



「薬草の宝庫」である青葉山の麓にあるハーバルビレッジは、薬草カレーや、「薬膳茶づくり体験」など、おいしい空気と薬草で楽しみながら健康になれる場所です。

中山寺



青葉山の中腹にあり、北陸三十三ヶ所観音霊場第1番の中山寺は、本堂や金剛力士像は国指定重要文化財に指定されています。山門からは高浜の絶景も楽しめる、参拝客の多い寺です。

ヒロセオートキャンプ場



五色山公園内にあるオートキャンプ場です。キャンプ場のすぐ目の前は海岸、また遊歩道を行くと広場や展望台もある、山も楽しめるキャンプ場です。

大成寺



臨済宗建仁寺派の中本山。座禅体験を行っており、住職が説法と座禅を指導します。高浜町は、日本人僧としてはじめて欧米に仏教を紹介し、「禅」を「ZEN」として伝えた釈宗演の生誕地。

音海大断崖



高さ260mにおよぶ絶壁の大断崖です。押廻崎灯台まで続く遊歩道があり、途中から大断崖の一部が楽しめます。全体を見るのは海上からの漁船ツアーがおすすめです。

パピィフルーツパーク



寒暖の差がある青葉山の麓で、大粒のいちごとして商標登録された「リッチゴ」を栽培しており、直売所やスーパーに並びます。甘くて大きいいちごは「いちご狩り」でも人気です。7月末~12月頭まではキッチンカーも登場します。「フローズンいちご」やそれをけずって練乳かチョコをかけた「けずりいちご」が人気メニュー！ほかにも「フルーツティ」「フルーツソーダ」など夏においしいメニューを提供しています。